

JCM設備補助事業シンポジウム2018

ベトナムの上水施設への高効率ポンプ導入



7th November 2018



Yokohama Water

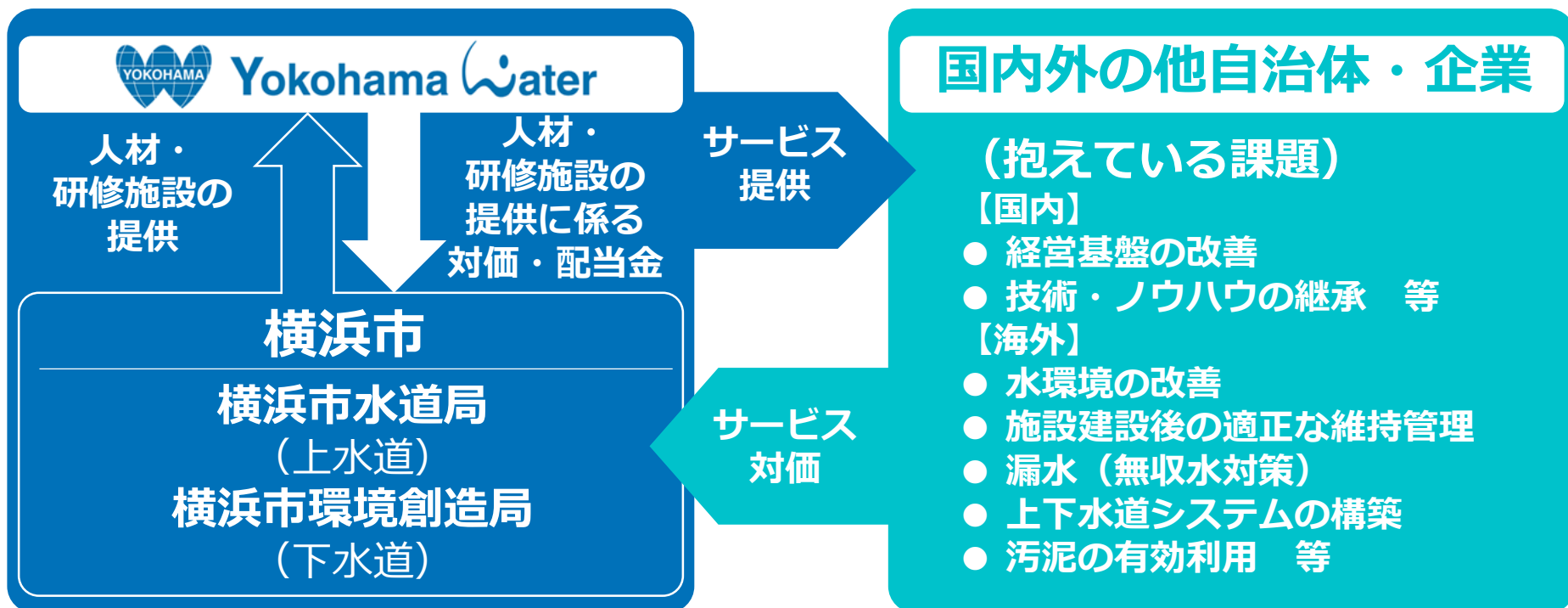
Yoshinobu Ono



横浜ウォーター概要

会社概要

- 2010年に**横浜市水道局**が100%出資して誕生
- 2013年には**横浜市環境創造局**と基本協定を締結
- **上下水道一体**となって国内外の自治体・企業等へのビジネスを展開



アドバイザーサービス

横浜市100%出資団体ならではの上下水道事業体の立場に立った幅広いアドバイザーサービスを提供します



上下水道に関するノウハウの提供

水源涵養林の保全



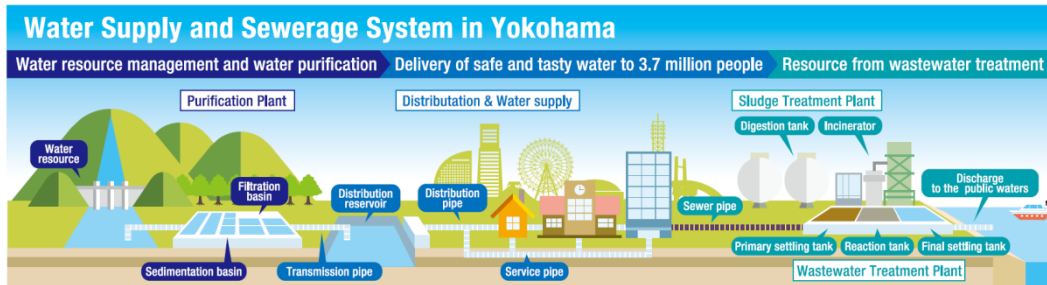
再生可能エネルギーの活用 小水力/太陽光発電



配水管理



料金メーター/ 市民サービス



事業経営



横浜の水循環に関する事業

PFI (セラミック膜処理)

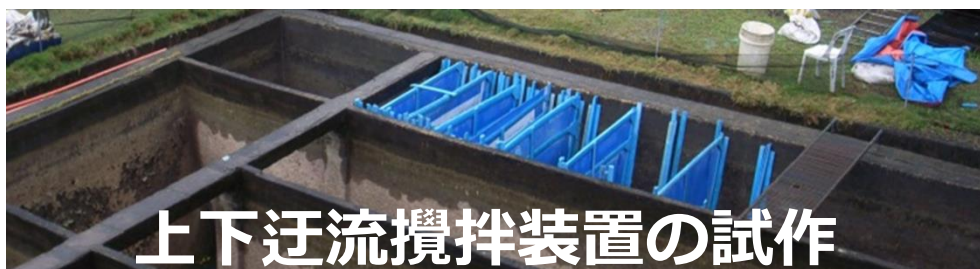


下水汚泥の100%リサイクル



技術協力プロジェクト

横浜市水道局と連携し、“安全” “安心” “安定” した24時間給水に向けた横浜市100%出資団体ならではの取り組み



本邦研修

横浜市水道局と連携し、研修員のニーズに合わせた柔軟な本邦研修を実施

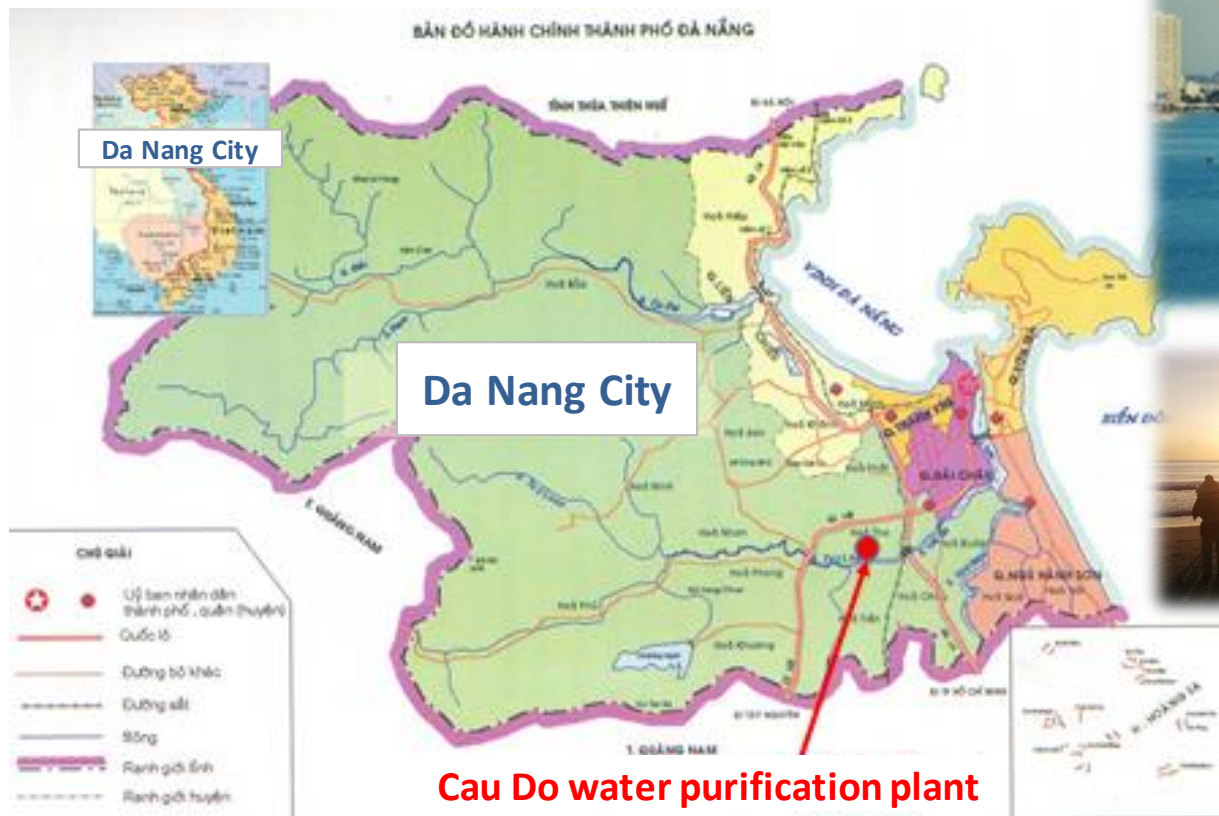




ダナン市におけるJCMプロジェクト (高効率ポンプの導入)

ダナン市と横浜市の関係

- 都市間連携による都市課題の解決に向けた取組
- 持続可能な都市発展に向けた技術協力
- 2013年覚書の締結 (2016年改定)



Cau Do water purification plant

JCM可能性調査の実施

2015年に横浜市とダナン市の都市間連携を通じ「持続可能な都市開発のための技術協力」のJCM可能性調査を実施

ベトナム

ダナン市
人民委員会

DPI



日本

横浜市

Project Management
IGES

Y-PORT Center

水道事業

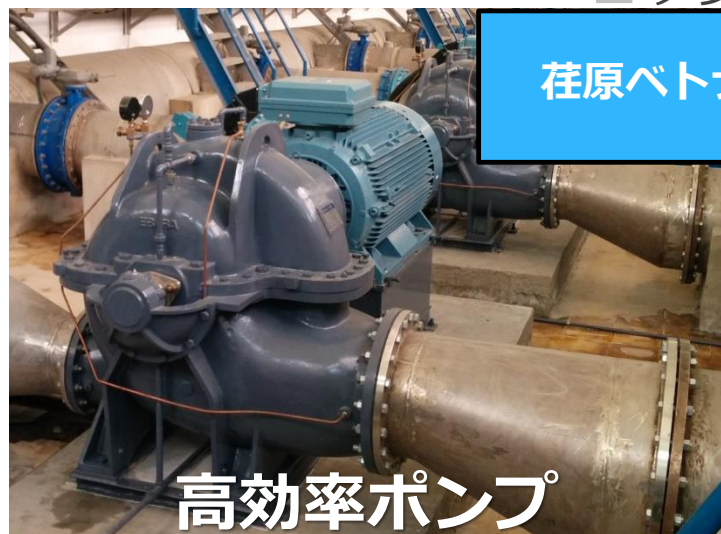
DAWACO,
DPI,
DOC,
CCCO

高効率ポンプの導入検討

設備補助事業を適用するための
手続きに関連する課題解決

IGES
横浜市内企業

ダナン水道に高効率ポンプ導入



荏原ベトナム



事業効果

	取水ポンプ		配水ポンプ	
ポンプ台数	3		6	
電力消費量	2,200 MWh/年	1,982 MWh/年	19,196 MWh/年	17,297 MWh/年
電力削減効果	218 MWh/年		1,899 MWh/年	
	2,117 MWh/年			
CO2排出量削減効果 *	118 ton-CO2/年		1,027 ton-CO2/年	
	1,148 ton-CO2/年			

* 0.5408 ton-CO2/MWh

スケジュール

	期間
導入可能性調査	2015年
補助申請	2016年
建設	2017年9月まで
JCM期間 (18年間) *	2017年から2035年

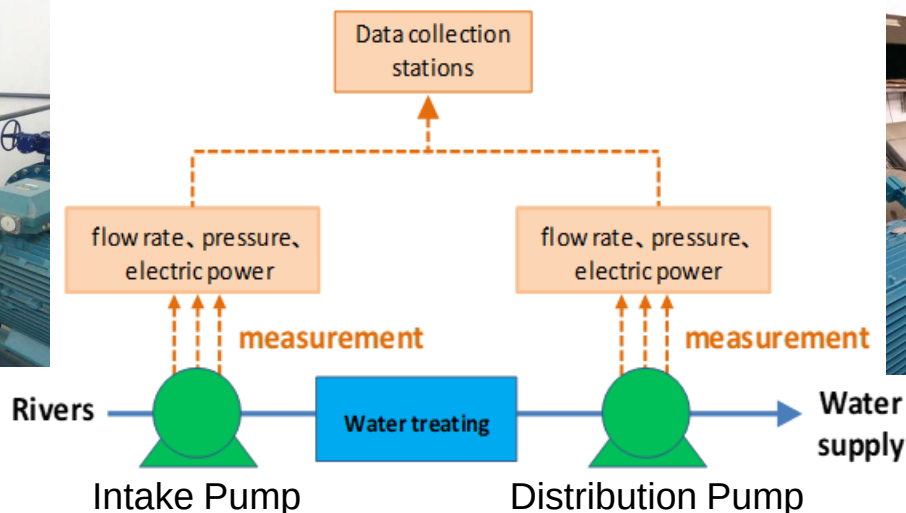
* 日本の設備法定耐用年数による

検査



モニタリング

- 場所 (Cau Do 浄水場)
LEVEL-1 P.S. (取水ポンプ)
LEVEL-2 P.S. (配水ポンプ)
- モニタリング期間
2017-2035 (18 年間)



オープニングセレモニー





ホーチミン市における JCMプロジェクト (インバーター制御の導入)

JCM事業の横展開



水道事業体との関係を活用した横展開

インバーター導入による取水ポンプの省エネルギー化

- 2018年度補助事業
- 対象 ホーチミン市の用水供給事業者
- 内容

取水ポンプ4台のうち3台をインバーター化

- 想定CO2削減効果 **1,043tCO2/年**
- 設置工事 2018年～2019年（予定）
- JCM期間 2020年から18年間（予定）

事業実施のメリットとポイント



メリット

- 高効率製品を導入によりエネルギー使用量を削減
- 温暖化ガスの削減やエネルギーコストの削減に貢献
- 環境事業に関する補助金の活用
- 国際コンソーシアムの活動を通じて相手国のCPと長期にわたり良好な関係構築

ポイント

- 相手国の協力企業の選定
- 共同事業者との役割分担
- JCMのクレジットの発行についての議論
- 長期間に及ぶモニタリングを技術面、費用面の検討



ご清聴ありがとうございました
Xin cảm ơn.

横浜ウォーター株式会社
小野 好信

E-mail: ono-y@yokohamawater.co.jp

